

平成 30 年 2 月

松山理事長が「UNWTO 雪と文化の世界観光会議」にて登壇

2月1日(木)から3日(土)まで山形県山形市にて「UNWTO 雪と文化の世界観光会議」が開催されました。1日は山形郷土館文翔館での山形県知事主催の歓迎レセプション、2日は山形ビッグウィングでの観光会議、3日は商談会とテクニカルビジットが行われました。

2日(金)の会議では、日本が多数保有する雪をはじめとした未開発の独自の観光素材を歴史・文化と絡めて地元民で築く地元地域循環型(コミュニティー・ファースト)観光の推奨と、国、地方自治体、民間での受入体制の強化の重要性について話し合われました。

松山理事長はまとめのセッションへ登壇し、日本での観光素材としての「雪」のポテンシャルの高さとブランディングの重要性、観光地での受入体制強化(自然災害発生時の情報発信等対応方法)につき提言いたしました。



会議登壇者



登壇中の松山理事長